

組織機構改革

本庁組織を見直し
さらなる行政サービスの向上へ

市民のニーズに対応
できる行政組織機構に

市では地方分権時代にふさわしい「スリムで効率的な行政体」の構築を目指し、時代に合った、組織の在り方を検討してきました。

その結果、市民皆さんへの行政サービスの充実と、確実な提供を目指すとともに、市の重点事業を効率的に進めるため、3月1日および4月1日付けで本庁の組織を見直しました。

【問い合わせ】

総務部人事課
人事給与係
☎0220(22)2145



1 市長部局（3月1日～）

市民生活部	昨年12月に「登米市立病院改革プラン」と併せて策定した「登米地域包括医療・ケア構想」の実現に向け、着実な実施に向けた体制整備のため、市民生活課内に「地域包括医療推進室」を新設しました。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 地域包括医療推進室 (新設) </div>

2 教育委員会（4月1日～）

教育委員会	社会教育部門と社会体育部門の事業を一体的に展開し、生涯教育に総合的に対応・支援するため、「生涯学習課」と「体育振興課」を統合しました。					
	<table border="0"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">生涯学習課</td> <td style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">➔</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">生涯学習課（統合）</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">体育振興課</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	生涯学習課	➔	生涯学習課（統合）	体育振興課	
生涯学習課	➔	生涯学習課（統合）				
体育振興課						

3 農業委員会（4月1日～）

農業委員会	効率的な事業運営を進めるため、「農政総務課」と「農地管理課」の2課制を廃止し、事務局長および新設する事務局次長のもと「農政総務係」「農地管理係」の2係制に再構築しました。					
	<table border="0"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">農政総務課</td> <td style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">➔</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">農政総務係（課制廃止）</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">農地管理課</td> <td></td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">農地管理係（課制廃止）</td> </tr> </table>	農政総務課	➔	農政総務係（課制廃止）	農地管理課	
農政総務課	➔	農政総務係（課制廃止）				
農地管理課		農地管理係（課制廃止）				

4 医療局（4月1日～）

医療局	組織の起動力を高めることにより、市立病院改革プランの着実な実行を図り、経営改善の取り組みを強化するため、「医療管理課」と「経営改革推進室」を統合しました。					
	<table border="0"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">医療管理課</td> <td style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">➔</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">医療管理課（統合）</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">経営改革推進室</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	医療管理課	➔	医療管理課（統合）	経営改革推進室	
医療管理課	➔	医療管理課（統合）				
経営改革推進室						

登米町出身の日本画家・高倉勝子さん 美術館と作品をふるさと登米市に寄贈

登米町出身で河北美術展参与、宮城県美術協会参事の日本画家、高倉勝子さん（本名かつ子・仙台市）からこのたび、50年間に描いた作品のうち93点と、その作品を収蔵する美術館「高倉勝子美術館（仮称）」を市に寄贈していた、たことにになりました。

これについて2月26日、市役所登米庁舎で共同会見が行われ、作品と同館の概要が紹介されました。

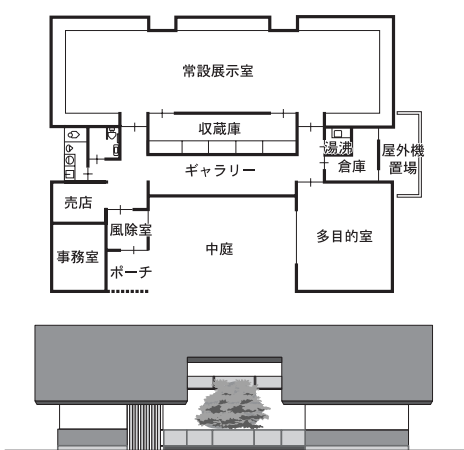
高倉さんは、小学6年生から絵を描き始め、女子美術大学日本画部で本格的に日本画を学び、卒業後教員になって



作品と展示施設寄贈についての思いを話す高倉さん



市長とともに記者団に作品の作風などを紹介



（仮称）高倉勝子美術館完成予想図（平面図・立面図）

からも積極的に創作活動を行ってきました。主に河北美術展などで活躍し、2008年には文部大臣から地域文化功労賞を受賞しています。

会見で高倉さんは「ふるさとに残せるものとは考えました。文化活動などの拠点としてまちの活性化に役立ててほしい」と、寄付に至った経緯を述べました。これに対し布施市長は「地域の芸術文化の拠点として活用させていただき、貴重な宝として後世にしっかりとつなぎたい」と、感謝の言葉を述べました。

同館の建設は、登米の旧法

務局跡地が予定されています。館内には、高倉さんのこれまでの作品のうち河北美術展で文部大臣賞を受賞した「黄衣」や、広島での被爆体験を描いた「原爆の図」などの日本画や水墨画の作品が展示される予定となっています。

そのほかにも、多目的室やギャラリーが設置され、市民のさまざまな催しにも利用できる設計となっており、9月中旬の開館を予定しています。

【問い合わせ】

教育委員会生涯学習課
文化振興・文化財保護係
☎0220(34)2698

南方幼稚園幼年消防クラブに 鼓笛隊セットが寄贈されました

財団法人日本防火協会から宝くじの助成を受けて南方幼稚園幼年消防クラブ（佐々木耕悦園長、57人）にマーチングドラムや鍵盤シンバル、ペストなどの鼓笛隊セット一式が寄贈されました。

この助成事業は、財団法人自治総合センターの宝くじ普及及広報事業を財源に、財団法人日本防火協会が民間防火組織の幼年消防クラブに対して、



【問い合わせ】

消防本部予防課
予防建築係
☎0220(22)1900

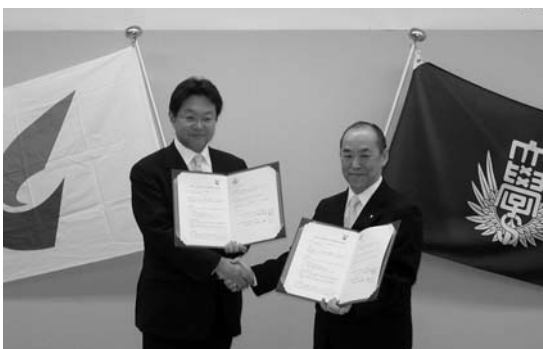
地域社会の発展に向けて 石巻専修大学と協定を締結

市と石巻専修大学との連携に関する協定の調印式が3月10日、石巻専修大学で行われました。

これは、市と石巻専修大学が人材育成や学術の振興などに関して相互に連携すること、地域社会の活性化に結び付けようとの協定が結ばれたものです。

【問い合わせ】

産業経済部商工観光課
工業振興係
☎0220(34)2734



今後の連携を誓い握手する布施市長と坂田学長